

核兵器のない世界の扉をひらこう！ 10・25 国連軍縮週間のつどい

いま、核兵器禁止条約にむけて世界が大きく動こうとしています。

秋の国連総会に核兵器禁止条約について交渉する会議を来年招集することを求めた決議案が提出されました。決議が採択され、交渉会議が成功すれば、核兵器禁止・廃絶への出発点となります。

問われているのは、核兵器禁止条約の背をむけている核保有国とその同盟国の態度です。被爆国の日本が役割を果たすためにも、「核の傘」からの脱却、核依存政策の転換が強く求められています。国連軍縮週間にあたって、パネル討論会を開催します。是非ご参加ください。

【第1部】平和のための軍縮を IPBベルリン世界会議 被爆者遊説代表団からの報告

【第2部】 パネル討論 核兵器のない世界のために— 被爆国日本の役割を問う



日本被団協
田中熙巳事務局長

ふたたび被爆者を
つぐらないために



大平喜信
衆議院議員

被爆国にあるまじき
抑止政策からの転換を
核



弁護士
田部知江子

ノーモア・ヒバクシャ
訴訟のたたかいから

日時：10月25日(火) 15:00~17:30

参加費無料

会場：衆議院第1議員会館多目的ホール

国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会(日本原水協)
HP:<http://www.antiatom.org> / メール: antiatom55@hotmail.com